

武雄市新庁舎建設基本計画（案）に関するパブリックコメント（意見公募）の実施結果

件	ご意見	市の考え方
1	<p>けっして広いとは言えない敷地の中にある議事堂。もちろん神聖なスペースではありますが、多目的に使えたらと思います。</p> <p>例えば、ボタン操作で机や椅子が可動式でセッティングできたり、席なしのホールになったり、席だけの小ホールになったりと多目的な会場が実現できたらいろいろな施設不足も解決するのではと考えます。</p> <p>また最上階（今までは）でなく、中の様子がガラス越しでみえ、声は他の人も聞こえるなど、オープンなホールもいいですね。</p>	<p>新庁舎はできるだけ多くの方々に訪れていただき、有効に利用できるように庁舎を目指しています。ただし、議事堂については、市議会の会議開催が本来の設置目的であるため、審議に支障が生じるようではならないものと考えています。なお、議会スペースにつきましては、武雄市議会の中で詳細な議論を行っていただく予定です。</p>
2	<p>「デザイン」で人を呼ぼう！</p> <p>武雄市図書館のリニューアルオープンの成功は「デザイン」の力が大きかった。TSUTAYA が指定管理者になったことやスターバックスがカフェとして入居したことなど「ソフト」面と、開架図書を大幅に増やしつつ、落ち着いた質感の内装にまとめた「ハード」面をうまく融合させた「デザイン」性の高さが来訪者の大きな評価につながっている。その成功体験を発展させるために、新市庁舎でもデザイン性の高いものを目指すべきだ。</p>	<p>新庁舎の建設地は周辺部は、新幹線事業や区画整理事業等により街並みが大きく変わってきています。この街並みに調和した庁舎づくりを目指していきます。</p>
	<p>オープンなコンペで経済効果を！</p> <p>「デザイン」性の高い新市庁舎を作るために一番大事なものは建築家の選定である。基本計画では「プロポーザル」形式で選ぶことが提案されているが、問題は運営の仕方である。「仙台メディアテーク」、「横浜大棧橋ターミナル」など全国的に話題になった公共建築はコンペ段階から関心を集めていた。これはオープンなコンペ方針を貫いたからだ。一般的なコンペ方式は、参加資格が厳しく、若い建築家は参加すらできないよ</p>	<p>新庁舎の設計は、プロポーザル方式で業者の選定を行うこととしています。これは、設計業者選定の段階では新庁舎についての提案内容を基に設計業者を選定し、その後、細かい内容や要望を打ち合わせながら新庁舎の設計を進めるためです。</p>

うになっている。まずはこの参加資格を緩和することが重要だ。門戸を開けば現地視察を含め多くの人が武雄を訪れる。飲食などの経済効果だけではなく、一般的に「おしゃれ」な人とされている建築デザイナーがSNS等で情報を発信することを含めると、その効果は無視できないものになるだろう。

外国人審査員採用で海外へ情報発信！  
参加資格の緩和と同時に、コンペのイベント化に不可欠なのが審査員の選定である。「オープンなコンペにしても蓋を開けたら、二次審査に残ったのは審査員の知り合いばかりだった」というケースが残念ながら散見される。こうなるとコンペ自体が逆効果になってしまう。思い切って外国から著名な建築家を呼んではどうか。それ自体が話題になることが間違いない。海外への情報発信にもつながるだろう。また地元の審査員の発言権を確保することも重要だ。建築家主導にならないために、地元で生活しながら、建築家の発言を理解する能力のある「通訳」みたいな存在を入れておくと、実際に建築が始まってからもスムーズに出来るだろう。

全国初？市民にも選ぶ権利を!!

公共建築コンペで審査会を公開するケースが増えているが、入選作品のプレゼンを聞くことができるだけで、市民は質問も投票もできない。そこで公開審査会場の来場者に投票権を与えるのはどうだろうか？ もちろん専門審査員の投票の配点を重くするなどバランスが必要だと思う。これだけで大きなニュースになること間違いなし。

審査については、公平な審査になるよう十分な体制を整えます。なお、設計業者については、知名度ではなく設計業者の新庁舎についての提案内容を評価し選定することとしています。

	<p>せっかく出来たのに…” 通訳” 選びは重要!!</p> <p>オープンなコンペで市民の意見を最大限に取り入れて選んだ建設案でも、出来てみたら使う人から不満ばかりが上がってくる…。不幸にもそんなケースは多い。武雄市近隣にもそういう公共施設が見受けられる。これは建築家だけの問題ではなく、クライアント側が図面レベルで空間を想像できないから起きてしまう悲劇だ。とはいえ担当者にそういう能力を求めるのは酷。</p> <p>そこで、建築家と市民の間に立って、お互いの言葉を図面上で” 通訳” する人材を活用してはどうだろうか。新庁舎は今後 100 年に渡って、武雄のシンボルになる存在だ。常に注目を浴び続けるためにも、意欲的なデザインでなおかつ武雄市に合ったものが求められる。</p>	
3	<p>市民が直接かかわる課は新市庁舎内にまとめて設置して欲しい。</p> <p>今後武雄市民の高齢化はますます進むことと思います。車の運転ができなくなった高齢者やその他の交通弱者のためにも是非新市庁舎内に課をまとめていただきたいと要望いたします。</p>	<p>新庁舎においては、効率的で満足度が高い行政サービスが提供できるような各課の配置計画を行います。また、新庁舎建設時は、業務の効率化と全体的なサービスの向上、そして手続きや相談などのワンストップ化を図るため支所まちづくり課を本庁に一元化するとともに、上下水道部などについても集約します。</p>
	<p>市役所駐車場を以前のように閉庁時間帯は市民へ開放して欲しい。</p> <p>市職員の個人駐車場にするのではなく、公共の無料駐車場として市民のために開放していただきたいと要望いたします。</p>	<p>市役所駐車場につきましては、現在と同様に閉庁時間については無料開放することを基本と考えています。</p>

4	<p>武雄市の市庁舎って使い物にならないくらい駄目なんですか？</p> <p>何時も疑問におもうのですが市民サービスに支障がきたすからって言うのですがいったい何処にどんな支障が有るんでしょうか？同じ様な事が私の住む福津市でも有ります。</p> <p>日本人はちょっとでも古くなると新しい物が欲しくなる愚かな国民ですねヨーロッパを見たら良くわかるはずですけどね何百年も前に建てた建物を大事に使ってます。日本だと社寺仏閣等くらいです。一般住宅でも100年以上は木造住宅です。使える物をちゃんと使うって考える事は出来ないんですか？</p>	<p>本庁舎は防災上重要な建物であると位置づけられながらも耐震性能が十分ではなく安全性の確保が必要です。耐震改修についての検討も行いましたが、多額の費用を投資するにも関わらず庁舎の利用度が低下してしまうため耐震改修は行うべきではないという結論になりました。</p> <p>また、現庁舎は来庁者の方にとって非常に使いづらい状態であります。現庁舎は構造上1階部分の多くを機械室が占めており、多くの方々が訪れる窓口部門が設置できなくなっており、エレベーターについても2階までしかありません。</p> <p>さらに現庁舎及び庁舎敷地は、新幹線事業により用地買収がされ建物の面積及び敷地が減少してしまいました。これによりまちづくり部の移転など行政機能の低下や深刻な駐車場不足を招いています。</p> <p>以上の点により庁舎の建替を行うものであり、必要性については十分に検討したものであります。また武雄市議会及び各種団体や公募市民から構成する市民会議においても庁舎の建替えは必要であるとの意見をいただいています。</p>
---	--	---